

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス すまいる・きっず		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	すまいる・きっずは学年を超えて集団活動に取り組んでいる。その中で、子どもたちは集団でのルールやコミュニケーションを学んだり、集団活動の楽しさを経験したりすることが出来ている。	集団活動の中で、子ども達に手本となる行動を行う場を設け、自己肯定感を高められるよう取り組んでいる。お手伝いを頑張った子を集団活動の中で評価することで、自己肯定感や進んで人の役に立とうという気持ちが育つよう取り組んでいる。	順番や勝ち負けのルールを子どもたちが理解し、守れるよう取り組む。
2	日々利用する子どもたちに応じた療育ができるよう、職員間で情報を共有するための書類を作成している。	指導計画書を作成し、職員が支援内容を間違えずに療育に携われるようにしている。課題や宿題に取り組んだ内容を学習記録として残し、情報共有を図っている。	現在の取り組みを継続していく。職員への伝達漏れが起きないように、ICTの活用などより効率的な伝達方法を模索する。
3	共働きをされている保護者も増えてきているので、ニーズに応じた送迎を行っている。	児童の特性を配慮して座席を配置し、安全を確保している。送迎の時間を活用し、児童との会話を通して関係作りを深めている。	送迎管理ソフトを導入し、送迎の更なる円滑化を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者機関に外部評価を受ける機会が少ない。	関係機関がともに多忙を極めている為、意見交換の場を設けにくい為。	今後は話し合いをする時間を設け、第三者の評価を聞き取り、業務改善につなげていく。
2	保護者同士で交流できる機会が年の一回のさくらさくの会のみとなっている。	系列事業所の移転やコロナ禍等の外的要因もあり、交流の機会を確保できていなかった為。	今後、家族で参加できるイベントや勉強会を開催していく。
3			